

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長門市児童デイ・ケアセンターあゆみ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している	曜日によってプログラムを構成し、ワクワクするような内容を考えたり、子どもからの発信を大切にしている バスに乗っているいろいろな場所に向かうようにしている	法人内の事業所と関わりを深めながら子ども同士が交流できる場を設定する 保育園・幼稚園と交流企画(祭り、事業所内に招待するなど)も提案しながら交流を深めていく 地域に向かいに行けるようにバスを活用する
2	日々のミーティングや子どもの様子について情報共有を密に取り合っている	支援前のミーティングが支援後のふり返し時間を活用し、日々の変化や保護者からの連絡等を伝えるようにしている ヒヤリハットがあればその日のうちに内容を整理し、改善点を話し合うことを徹底している 職員会議は各月で実施し、研修やケース会議を行いながら支援のスキル向上に努めている	職員内でスマホアプリを活用した情報伝達や記録を読み返す仕組みを定着させる
3	インクルーシブ保育を取り入れたクラス構成を試みた	合同活動を増やし、お互いに交流できる時間やプログラムを実施している 子どもだけでなく、職員も関わる機会が増え社会性が広がりやすい環境を設定している	合同活動をさらに増やし、一緒に過ごす時間をより多く提供する 隣接する保育園、支援センターとの交流する活動や地域に向かう活動を企画する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止、緊急時対応マニュアル等を策定しているが、周知への対応が不十分だと感じる	避難訓練等は定期的には実施されているが、マニュアル等の周知方法が統一できていない	ホームページを活用しながら、職員・保護者等、誰でも閲覧できるように方法を検討していく
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が少ない	初めて事業所に招く形で地域向け夏祭りを企画し、市役所の協力も得たうえで実施したが、周知が不十分で当日は対象施設が来れない状況だと後で知ったため連携も図れていなかった	市役所や地域に向けて発信できるよう、さまざまな手段を考えていく 地域と連携し今後も事業所に招いて収穫祭やまつり等を企画して楽しむ
3	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていない	構造化の要素と目的を理解していない職員がいる 建物の構造をうまく活かせていない	自発的な構造化という仕組みを取り入れているが、時代や子どもの変化に対応しながら臨機応援に限られたスペースを活用していけるように職員間でも検討していく 主体的な活動が取り組めるように目的を明確化していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
児童デイ・ケアセンターあゆみ		令和8年 3月 2日				30	
		利用児童数				令和8年 1月 5日 31人	
	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	0	0	教室が少し狭いかも 構造化の推進を目指しながら安全面にも配慮した環境を設定する
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1	0	3	配置数がよく分からない。だが足りないと感じない位、子どものサポートをして下さってる ハローワークに求人を求めると同時に連携・協力していただける仲間を増やす体制を整えながら支援力の向上を図る
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1	0	2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	1	0	面談や連絡ノートを通じてよく感じる 子どもが今、興味関心がある遊びや前向きになれる素材を伝えるようにしている 強みや弱みも合わせて伝えるようにしている
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	0	支援の内容を具体的に伝え、本人に合ったプログラムを提供していく
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1	0	0	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	0	ガイドラインの徹底
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	0	1	色々なプログラムがあり、子どもたちも多くの活動に参加できている 曜日によってプログラムを構成し、わくわくするような内容を考えたり、子どもからの発信を大切にする
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	26	2	1	1	バスに乗って様々な活動に参加できている 法人内の事業所と関わりを深めながら子ども同士が交流できる場を設定する 保育園・幼稚園と交流企画（祭り、事業所内に招待するなど）も提案しながら交流を深めていく
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	誰が見ても分かるような形で提供している
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	0	0	0	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	30	0	0	0	基本の徹底
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0	十分な時間を確保していただき、日頃の様子を聞くことができる 写真や動画を一緒に見ながら、見て分かる対話を心がけている
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1	0	0	基本の徹底
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1	0	7	茶話会や保護者参観日、おしゃべり会などの周知をしていく
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	0	0	いつも迅速に対応していただいている 基本の徹底	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	0		基本の徹底
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	0	4		ホームページの活用
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	0	0		基本の徹底
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	0	2		ホームページを活用
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	1	1か月のスケジュールの中に訓練もあり、子どもにも定着している。	基本の徹底
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1	1	0	帰宅後も安定した表情で過ごせている	子どもも保護者も安心できる場所であるためにスキルアップや連携に努めていく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	0	1	毎回楽しく通っています！	子どもの「やりたい！」を実現させていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2	0	0	大変満足し感謝しています	寄り添った支援を提供していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		長門市児童デイ・ケアセンターあゆみ					公表日	令和8年 3月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	定員数を減らしたことで密な支援を提供できるようになった	求人を含め、人員確保の徹底と職員のスキルアップに努めている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	状況に応じて空間の工夫をしている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0		基本の徹底		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		基本の徹底		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		基本の徹底		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	0		年1回は必ず研修を実施し、参加できなかった職員には復命をしている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	外部から講師を招き、研修等を行っている	法人で運営会議を行い、出席した者が復命することで情報を共有するようにしている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0		基本の徹底		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0		職員間で話し合い、共有しながら議論している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0		基本の徹底		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0		誰が見ても分かりやすい様式を使ってアセスメントしている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		基本の徹底		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0		必ず職員に目を通してもらい、必要なプログラムや内容を考案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	子どもたちの興味関心から、新しい活動を取り入れている おでかけ・ごっこ遊びなど新しい活動を取り入れている	子どものつぶやきをヒントに今後も、モチベーションを高める活動を提供していきたい		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		基本の徹底	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		基本の徹底	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0		基本の徹底	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		基本の徹底	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		基本の徹底	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		代表が出席し、後日復命をうけている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		相談支援員と連携し、必要に応じて行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0		保護者と一緒に引き継ぎ書の作成をしている	
	28	(28~30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	0			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	12	0		定期的に外部講師を招いて研修を行っている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	0		代表が出席し、後日復命をうけている	
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	地域の方(子育て支援センター)を招き夏祭りの企画夏祭りを予定はしていたが、相手側の都合で実施できなかった	企画の周知や地域へ出向き、関わるができるきっかけを作っていく	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	茶話会の実施	あしすとパートナー養成講座を受けられた方に活躍していただき、新たな企画やなかもづくりを目指していきたい		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0		基本の徹底		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		必要に応じて相談支援員とも連携を図りながら実施している		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	兄弟児への対応はこれからの課題	保護者同士の交流の場、きょうだい同士の交流の場、父母の会に変わるような企画を保護者の意見を聞き取りながら考えていく ちやわかいの紹介をする
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		基本の徹底
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		基本の徹底
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	1		新しい取り組みを取り入れながら、ここでしか出せない色を模索していく
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1	家族等に対しては実施できていない 防犯マニュアルは検討が必要
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1		職員研修を行い、必要な訓練を実施していることを周知する
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	市と公立保育園と連携して行っている	担当者を決め、書類の作成や会議後の復命などしっかり情報共有できる体制をつくっている
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		基本の徹底
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	速やかに対応を行い、報告書を回覧、会議などで共有している ちょっとしたことでも、ミーティングで共有したり記録・報告をし合っている	気付き等があればその場で、ヒヤリハットを作成して職員間で周知している
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	全職員を対象に実施し、参加できなかった職員には議事録を渡し、必要に応じて復命をしている	年1回は必ず研修を実施し、参加できなかった職員には復命をしている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0			